

2019年5月8日

各 位

米国オハイオ州天然ガス火力発電事業への参画について

当社(社長:大田 勝幸)は、今般、米国オハイオ州天然ガス火力発電事業会社であるSFE Partners LLC(以下「SFE」)の権益を15%取得し、当社初の海外天然ガス発電事業に参画しましたので、お知らせいたします。

本事業への参画にあたり、米国に設置したENEOS Power USA LLCを通じ、AP South Field Holdings LLC(以下「AP社」)が保有するSFEの権益を取得いたしました。

米国などで電源開発を進めるAP社をはじめ8社が出資するSFEは、オハイオ州コロンビアナ郡において、高効率ガスタービンを採用した天然ガスコンバインドサイクル発電方式の発電所(出力約118万kW)の建設を2018年8月より着工しており、2021年半ばの商業運転開始を目指しています。同発電所において発電された電力は、米国最大の卸電力市場であるPJM Interconnection LLCを通じて、米国北東部に供給される予定です。

本事業により、当社は、新たな収益源を確保するとともに、自由化で先行する米国電力市場において、海外事業経験・知見を蓄積してまいります。また、蓄積した知見を国内の効率的な発電所運営に活用するとともに、さらなる海外発電事業への展開に繋げてまいります。

当社は、電気事業を通じて、エネルギーの安定供給への貢献を果たし、社会の発展と活力ある未来づくりに寄与してまいります。

<発電所建設予定地・発電所全景予想図>



<参考>

1. 概要

計画名	サウスフィールドエナジー(SFE) CCGT天然ガス火力発電プロジェクト
所在地	米国オハイオ州コロンビアナ郡 (ピッツバーグから北西に約50km)
出力	約118万 kW
発電方式	天然ガスコンバインドサイクル発電 (ガスタービン:GE社製)
燃料/供給	天然ガス/米国内シェールガス田からの調達
売電先	PJM Interconnection LLC (米国最大の卸電力市場)
商業運転開始	2021年半ば予定
出資者	ENEOS Power USA LLC RS Global Capital Investment LLC (株式会社日本政策投資銀行・昭和シェル石油株式会社による共同出資) 九州電力株式会社 四国電力株式会社 AP South Field Holdings LLC Bechtel 社 NH Amundi 社 PIA Asset Management 社

2. ENEOS Power USA LLCの概要

所在地	米国 デラウェア州
設立日	2019年3月27日
株主	JX Holdings (U.S.A.) INC. (JXTGホールディングス100%子会社)